

SDGs新聞

大阪・関西万博
(公益社団法人2025年日本国際博覧会協会)

揚げ物を作った後の油で飛行機が飛ぶ！？

SDGsラジオを読んでみよう！

からあげにエビフライ、トンカツにフライドポテト。

みなさんも大好きな揚げ物をつくった後には、使用済みの油がたくさん残ります。

これを「廃食用油」と呼び、そのほとんどがごみとして捨てられています。

でも、料理には使えない廃食用油も、機械を動かす燃料としてなら、まだまだ使えるパワーが残っているんです。

大阪・関西万博では、地球温暖化を防ぐためのプロジェクト「EXPOグリーンチャレンジアプリ」の取り組みのひとつとして、廃食用油の回収に取り組んでいます。使用済みとなった廃食用油をペットボトルなどに入れて回収スポットに持参すれば、

景品の抽選に応募できるポイントがもらえたりするんですよ。

そして回収された廃食用油はなんと、飛行機やトラックなどの燃料に生まれかわるんです。

みなさんのうちでは、料理をつくった後の油は、どうしていますか？調べてみましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：「廃食用油」のイメージ画像

からあげやエビフライ、トンカツなどの揚げ物を作った後には、使用済みの油がたくさん残ります。この油は「廃食用油」と呼ばれ、ほとんどの場合、紙に染み込ませたり、凝固剤で固めた後に「燃やすごみ」として捨てられています。しかし、実は廃食用油には、「飛行機や建設機械などを動かす燃料」としてのパワーが残っていて、社会では大きな注目を集めています。2025年開催の大阪・関西万博でもこれに着目し、地球温暖化を防ぐための取り組み「EXPOグリーンチャレンジアプリ」におけるチャレンジメニューのひとつとして、廃食用油の回収に取り組んでいます。

この取り組みでは、廃食用油をペットボトルなどに入れて、EXPOグリーンチャレンジの拠点として登録されている回収スポットに持参すれば、EXPOグリーンチャレンジアプリを通じて、景品の抽選に応募できるポイントがもらえます。日常の廃食用油を有効活用することで、みなさんが楽しみながら環境保護に貢献できる機会をつくり、「地球にやさしいアクション」が社会全体に広がっていくことを目指しています。捨てられてしまう油を新しいエネルギーに生まれかわらせることで、ごみが減り、残された資源を大切にすることができます。みなさんの身近なところにも、SDGsにつながる行動があります。



画像参照：EXPOグリーンチャレンジアプリの

イメージ画像
(大阪・関西万博公式HPより)

キーワード

地球温暖化

大気中の温室効果ガスが増えて地球の気温が上がる現象です。これにより、気候が変わり、極端な天候や海面上昇が起こります。

大阪・関西万博

2025年開催の国際的なイベント。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、未来の生活や医療、自然との関わり方などを体験できます。

建設機械

建物や道路をつくる時に使う大きな機械のことです。例えば、土を掘るショベルカーや、重いものを持ち上げるクレーンなどがあります。

対象ゴール



みなさんにできること！

「廃食用油」のことをもっと調べて、周りの人に教えてあげましょう。

- 料理で使い終わった油を「廃食用油」と呼ぶ。
- 廃食用油は、飛行機やトラック、建設機械などの燃料として再利用できる。
- 大阪・関西万博では、「EXPOグリーンチャレンジ」を通じて廃食用油の回収に取り組んでいる。

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



SDGs ラジオ